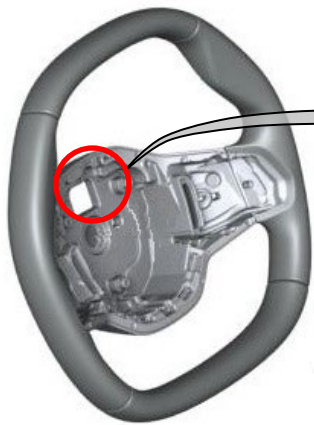


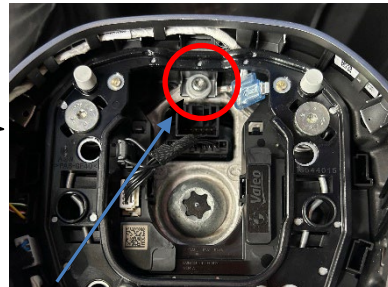
# 改善箇所説明図



図：左ハンドル



ステアリングホイール



基準不具合発生箇所

ステアリング ホイール内ケーブル締結部

注)  は、修正する部位を示す。

## 不具合の内容

ステアリングホイール内にあるケーブル締結部のボルト穴の掘削深度が不適切であったため、ボルトが締め付けられた状態でケーブルが正しく圧着できていないものがある。そのため、接触不良となり、ハンズオフ警告や緊急停止が正しく作動しないおそれがある。

## 改善の内容

全車両、ステアリングホイール内にあるケーブルのボルト締結部を点検し、必要に応じてワッシャーを取り付けて再組付けを行う。

識別：作業完了車は、左フロントドアアヒンジ取り付けボルト（下側）の頭に白ペンを塗布する。